

♡ 自営業というところもあり、なかなか女性と付き合う機会がないのが実情。早く結婚して家庭を持ち、子どもを三人は欲しい。
(自営業 独身 二十代)

♡ 跡継ぎであることと個人の価値感の両方から子どもは三人以上欲しい。
(公務員 独身 三十代)

♡ 子どもが反抗期の時期は大変だったが夫といっしょに解決した。子どもを通して人生を一回分業した。
(パート 三十代)

♡ 三人目を出産した時、主人の手助けが大きかった。近所同志でベビーシッターとしての関わりを持っている。
(主婦 三十代)

♡ 母親としての子育ては約十年間。第三子入園と同時に子育てと平行して自分がやりたかったことを始めている。
(主婦 三十代)

♡ 結婚も出産も望んでいない。
(スチュワーデス 独身 三十代)

♡ 子どもは欲しいが女性とめぐりあう機会が少ない。
(公務員 独身 三十代)

♡ 子どもが欲しいから結婚したい。(保母 独身 二十代)

♡ 仕事を持っているので、子育ては大変だったが、乳児期は姑に預け、小学校入学までは保育園に入れ働いた。子どもは宝です。
(農業 四十代)

♡ まわりに同世代の独身者が多く、結婚の必要性を感じていない。(研究生 独身 三十代)

♡ 子ども嫌いだったが、自分の子どもができかわいさを知った。
(会社員 四十代)

♡ 「男は仕事、女は家事・育児」という中で育ってきた。そのため妻と意見が食い違っていたが、子育てをとおして自分の意識が変わっていった。
(銀行員 五十代)

♡ 妻を〇〇家の嫁として見ていたが、子どもを通して家族間の意識が変わっていった。
(会社員 六十代)

♡ 二人の子どもが同時に大学に入って、教育費の負担が大きかった。
(ボランティア 五十代)

♡ 再婚して六人の子どもの育てている。子どもが大勢いるとかえって思いやりの心が育つ。
(美容師 三十代)

♡ 高齢出産なので、夫は消極的だったが私の強い意思と夫の協力を得て、三人の子どもを産み、育てている。
(主婦 四十代)

♡ 仕事に就いてから結婚し、子どもも欲しい。
(女子大生 独身 二十代)

♡ 気が合う男性を見つけて出産も体験したい。
(公務員 独身 三十代)

♡ 子どもは多いほど楽しいのではないかな。
(公務員 独身 二十代)

♡ 先輩のアドバイスで子育ての苦勞をのり越え、子どもといると希望と勇気がわいてくる。
(主婦 五十代)

♡ 子どもは三人欲しかったが姑に反対され、できたがきらめた。娘は三十歳を越えたが独身である。心配している。(主婦 六十代)

く編集員が
ねつとわあ
街角で
きいた

結婚とは? 子育てとは?

♂ は男性、 ♀ は女性を示しています。

♡ シングル志向。(会社員 独身 二十代)

♡ 家業を考えると結婚は必要だが趣味が生活になっている。(大工 独身 三十代)

♡ 離婚の経験がある。現在の生活に満足している。(自営業 独身 三十代)

♡ 一人目の出産が遅いので、体力に自信がなく二人目はずくない。子どもの独立後、自分のために何がしたい。(主婦 四十代)

♡ 結婚して一年、共稼ぎ。子どもは二人欲しいが、今は経済上の理由から夫婦二人だけの生活を楽しんでいる。(会社員 二十代)

♡ 二人の間では子どもは作らないと決めていたが、まわりから「どうしてつくりたくないの?」と聞かれた。
(美容師 四十代)

♡ 子どもは大好きだが十年間でできず、あきらめて二人の生活を楽しんでいる。
(契約社員 三十代)

♡ 結婚は考えていない。男性同様に仕事をしたい。
(医大生 独身 二十代)

♡ 「子連れ離婚」したが親にとっても、子どもにとってもあまり良い状態ではない。
(講師 三十代)

♡ 仕事を中断して八年間子育てしたがその間、家庭教師や論文翻訳などをして復帰に備えた。
(元大学助手 六十代)

♡ 近所の子どもたちがよく遊びに来てくれ、地域で協力し合っていて子育てができた。
(塾経営 四十代)

♡ 子育てだけでなく、一人の人間としてどう生きるかを大切にしてきた。それが子ども達の自立にも良い影響になっていると思う。
(自営業 三十代)

♡ 研究職を続けたかったが、自宅で仕事をする事になった。自分の心も安定し、余裕を持って子育てに取り組めた。
(自営業 三十代)

♡ 母親の立場より、嫁の立場を優先せざるをえなかった自分に腹がたつ、その反省から、もっと子育てにかかわりたかった。
(農業 四十代)

♡ 自己実現もしたいし、育児費、教育費を考えると子どもは二人で良いと思う。
(公務員 独身 二十代)

♡ 親と同居だったので、子育てに冷静になれた。
(講師 四十代)

♡ 三人の子ども達がそれぞれに个性的で楽しんで子育てができた。
(自営業 五十代)

相互託児サークル 「あんふぁんて浜松」に入会して

田村雅子さん ~浜松市在住~



たむら まさこ / 相互託児主体のサークル「あんふぁんて浜松」元代表。仲間と共に公園マップを作成し子育てママの間で話題となる。現在三児の母としてイキイキ子育て中!!

会が長く継続している理由は、代表はじめスタッフが交替で選出していることや、「あんふぁんて精神」というものが脈々と受け継がれていることだと思えます。何か活動したい時には、人

も緊張しました。手作りのおやつまで用意したりしてね。でも、子どもは結構うちとけるのが早いですね。また、十人十色でいろんな子がいるんだなと思えました。会のメンバーは、前向きでとても明るい人たちです。それに私をフルネームで呼んでくれ、妻や母としてだけでなく、個人としてみてくれていることにとても感動しました。

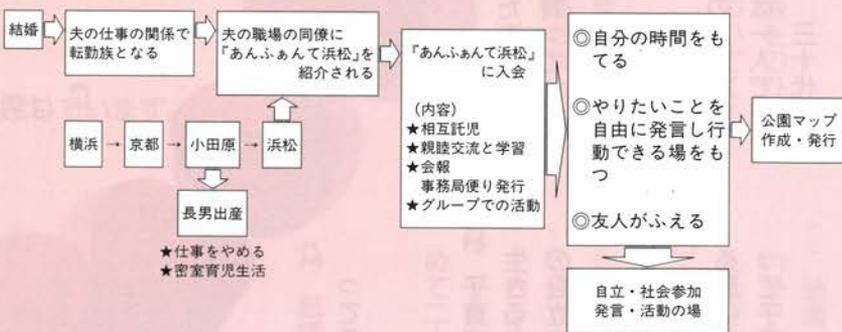
また、会の魅力はどんな理由でも子どもを誰かに預けられるということだと思います。いざという時や母親が自由な時間を必要としている時でも、母親同志で助け合って預かるうという共通の意思があることです。共同保育の中で自分の子を見ると、あらためてその子のよさがわかるし、長所・短所も魅力の一つだと思えるようになりました。そのため、ゆったりとした気持ちで子育てができるようになりました。今は子どもを通じてネットワークを広げています。家族で参加するキャンプなども企画し、父親に和風作りを教えてもらった時には、子供たちがとても喜んでいました。また、父親も子どもから教えてもらうことも多いようで、大人が忘れてしまったものを取り戻すことが出来たようです。

サークルを通して自己実現を会での情報交換が盛んになり、有志で勉強会をしようということになりました。一人で子育てをしていると自分の思い込みだけで判断してしまいがちですが、会を通して柔軟な考え方をもちることが出来ました。

まかせにしないで言い出した人が企画する。つまり、自主的にかかわる気持ちをもつということです。私が代表だった頃、子どもを安全に楽しく遊ばせることのできる公園を紹介した「公園マップ」を作成・発行し、子育て中の父母に大変喜ばれました。夫は、「会に入ってから、家庭の雰囲気

が明るくなったね」と言って預け合いにも協力してくれるようになりました。私も、入会して世界が広がり前向きに生活できるようになったと思えます。

▶ 田村雅子さんの場合 ◀



専門家からのご意見

子育てで親も
イキイキと輝こう

北條 博厚さん
ほうじょう ひろあつ



プロフィール
現職/静岡県立こども病院院長
専門/小児神経学、小児保健学
主な著書/こどもの病気診察室(静岡新聞社編集)等

情報量が多すぎて、母親が迷っている

悩みは、どんな時代にもつきものですが、時代によって形は変わっていきます。以前の日本は、不便だったけれどそれが不幸かというところでもありません。

子育てにしても昔は、身近にモデルがいました。お乳を飲む姿を見たり子守をしたりと人間が育っていく姿が、実体験を通して自然にわかっていったのです。ところが、核家族が増加した今、地域社会も変わり、必然的に育児書に頼らざるをえなくなります。結果、頭で描いていることと現実が一致すれば問題は無いのですが、そでない場合は、支離滅裂になってしまいます。育児書とありのいい子に育てようとするあまり、母親は現実とのギャップに悩みます。そんな時、母親を責めると萎縮させるだけで、何の解決策にもなりません。父親のサポートで子どもが安心します

そこで、登場するのが父親です。子どもは精神的にも肉体的にも両親に依存して育ちます。夫婦がよい関係であることが、子どもを安心させる第一条件です。母親の気持ちを安定させるために父親も子育てに積極的に参加することです。特に働く母親が増加している昨今、一人で家事も育児もこなそうとするとバニクに陥ってしまいます。父親の協力が是非とも必要です。

こうして子どもは家庭をよりどころとしな

夫と協力でイキイキ出産！

高井真喜子さん ～三島市在住～



たかい まきこ／大仁高校家庭科教諭
昭和58年結婚。11年目に36歳で長女彩加ちゃん
を出産（平成6年2月1日誕生）
ただ今、育児休業中！！

こうして子どもを産み育てることで、
私自身が大きく成長したような気がし
ます。そして生徒を見る目も今までと
は変わってきました。

産後一ヶ月の時、卒業式に参列した
のですが、生徒やその両親たちの様子
を見て、それぞれの親が十八年間育て
て、今があるんだと思うと胸がジーン
としてきて、とても感激しました。

育児休業を終えたら、仕事に復帰す
るつもりです。しかし、以前のように

夫と私の両方の母親が他界していた
ので、夫はとても私に協力的でした。
病院の送り迎えもフレックスタイム制
を活用してくれました。産後一ヶ月間
は買い物をして夕食を作り、お弁当も
自分で作るなど、大活躍してくれまし
た。もちろん子どもに関しても、自分
で「へその尾」を切ったぐらいですか
ら手放しにかわいがっています。今は、
子どもを抱いて散歩に連れていくこと
が最高の楽しみで、私が洗濯をし
ているときなど、「散歩にいつてくる
よ」とすんで連れていっています。

また、父親学級で学んだことを活かし
おふろに入れたり、おしめを換えたり
と育児に積極的に参加してくれてい
るので、とても助かっています。

あなたが職場に恵まれて
私が余裕をもって子育てに専念でき
るのは、生活面でも精神的にも安定し
ているからだだと思います。お腹の中
にいる時から、夫婦でゆったりとした気
分で音楽を聞いたり、話しかけたりし
てきました。母乳も時間や回数にとら
われることなく与えています。離乳食
も洋服も愛情と時間をかけて手作り
です。今着ている服も私が作ったん
ですよ。

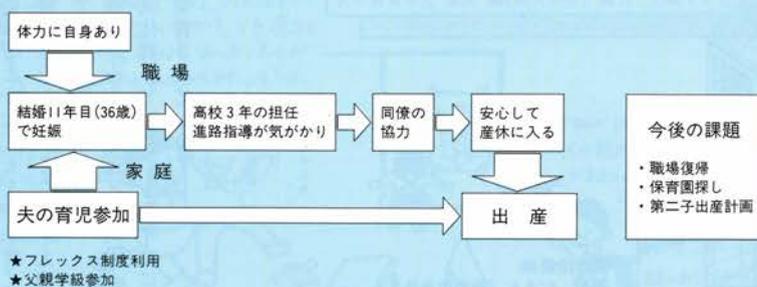
パパの大活躍がとてうれしかった
べつに子どもが欲しくなかったわけ
ではありません。結婚した当初、社宅
は狭く、共同浴場だったため、しぼら
くは二人の生活を楽しむことにしまし
た。

昭和六十二年に新築し、これでいつ
子どもができていいと思っていまし
たが、なかなかできませんでした。だ
からといって、病院で不妊の原因を調
べてもらうことは敢えてしませんでした。
それは診察を受けることによって
不妊だとわかり二人の間に溝がはいる
ことの方が怖かったです。

気楽な気持ちで生活をしてきたのが
幸いなのか、予想外に子どもができ
ました。その時は、夫をはじめ、まわ
りの先生や生徒たちが心から祝福して
くれました。三十六歳の高齢出産です
が、体力にも自信があり何の不安もあ
りませんでした。ただ、高校三年生の
担任なので、進路指導が気がかりでし
たが推薦文を書き終えてから産休に入

りました。

▶高井真喜子さんの場合◀



★フレックス制度利用
★父親学級参加

時間を気にせずに学校に残ることはで
きません。でも、職場の先生たちが非
常に理解を示してくださり
「母親ですからどうぞ五時で帰って
ください。これからは、女性が子どもを
産み育てやすい環境を家庭でも職場で
も築いていかなければいけませんね」
と励ましてくれました。

今後の夫婦の関心は「保育園探し」
と「二人目誕生はいつごろ」というこ
とになりそうです。

がら、学校生活に入っていきます。学校は将
来、集団生活に入っていくためのトレーニ
ングの場所です。ここで生きていく上での基礎
学力を身につけます。

親は子どもとの距離をもってください

ところが、幼児期の家庭での在り方が原因
となつて問題行動が現れる場合があります。

最近身体病気の病気よりも心の病気が大きな問
題になっています。子どもに対する過保護、
あるいはその逆の放任の結果が「社会性」や
「精神的自立の獲得」の遅れとなって現れてき
ます。こうしたことは家庭で配慮すれば軽く
すんだり、あるいは現れやすすむもの。現代
社会の子育てのひずみの現れと考えられます。

子育ての目標は「社会的に自立した人間」に
育てあげることです。そのために、子どもの成
長に応じて距離を保ち、時には立ち止まって
見守ることが必要になります。そうすること
で、バランスを回復することができず。そし
て、子どもに対する思いを成長と共に変えて
みて下さい。子どもは自分なりに試してみ
たくて、自己主張する時があります。これが反
抗期です。子どもは無意識のうちに、親から
離れ一人前の人間として自立していこうとし
ます。親は子どもを手放したくないでしょう
が、離れて見守ってください。親が枠を決め
るのでなく子どもの枠を広げてやるのが大
切です。反抗期は、もっとも甘えやすい人
にむかって現れます。家庭環境こそが子ども
にとって土壌になるのです。十分に愛されて育
った子は、どんな時にも立ち直れるもので
す。

豊かさ子育ての中で発見しよう

今の子育ては、お金も時間も費やすあまり、
苦労ばかりが目立ち、若い世代にとって子育
ての魅力がなくなつてきています。それが、
少子化の原因の一つとなつています。結婚す
ると社会参加ができなくなると考えている若
い女性がたくさんいます。そうではありません
。これからは、「男女で関わりあつていく子
育て」でなくてはなりません。横への広がり
豊かさを育児の中で発見する、そして親もイ
キイキと輝く。子どもをテーマにして人生の
意味を話し合う夫婦の関係にもつていこうで
はありませんか。

人とふれあえる空間

～子どもが楽しく育つ住まいの秘訣～

瀧井なみきさん ～静岡市在住～



たさい なみき / 静岡大学教育学部附属静岡中学校
講師 日本子どもの本研究会会員
昭和55年より3年間、夫の転勤によりパナマ共和国に在
住。その思い出を大切に、子どもたちが楽しく生活で
きる住居を3年構想で建てる。

お父さん」怒っているお母さん」を見
たさい なみき / 静岡大学教育学部附属静岡中学校
講師 日本子どもの本研究会会員
昭和55年より3年間、夫の転勤によりパナマ共和国に在
住。その思い出を大切に、子どもたちが楽しく生活で
きる住居を3年構想で建てる。

でも、子どもたちが一番好きだった
のは、やはり一階のリビングルーム。
必ず誰かがいるからです。私たちは、
子育ての中でも、この家での空間を通
して、人とのつながりを大切にしてい
ました。子どもたちも来客の大人の話
から、人生とは何か、すてきな夫婦と
はどんなものかを考える多くの機会を
得たようです。

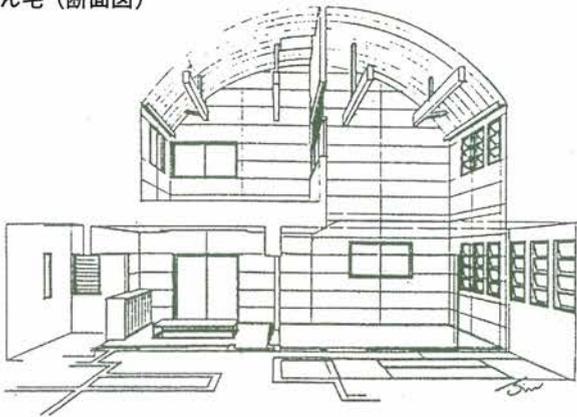
私の勤める中学校での調査ですが、
将来、結婚したいと答えたのは、男子
生徒が68%、女子生徒が62%。男子生
徒の方が多いという結果がでました。
また、夫婦は何でも話し合えるパー
トナーとしての関係がいいと思ってい
るという結果が出ました。「いばつてい
るお父さん」怒っているお母さん」を見

ライフスタイルに合わせて建てる
この家を建てる時、設計者に、自
分達のライフスタイルにおいて、何を
大切にしているかを十分に話しました。
私は人が好きですから、友人たちを、
夫は剣道が趣味ですから、やはりその
友人たちを大切にしたいと考えていま
した。だから、この家には人のいる気
配がどこでも感じられ、竹刀をふれる
スペースがあるんです。そして何より
多くの友人が集まれるオープンな家
にしたいと天井をアーチ型にし、吹き抜
けの多目的ホールを作りました。一階
全てを開放つと三十畳になります。
ここでミニ音楽会を開いたり、教え子
たちがおおぜい集まって宿泊したりし
ています。また、子どもたちは、多目
的ホールの天井からロープをつり下げ
て遊んだり、二階の窓から出て探検、こ
つこをしたりと自由な発想で楽しんで
いました。

をベニヤ板で区切ったので、フレキシ
ブルに利用できます。つくりつけのベ
ッドや収納スペースもありましたが、
子どもたちからは、多少狭いと不満も
でした。でも、私たちは子どもはど
こでもどんなときでも、たくましく生
きていってほしいと願っています。い
ろいろなことを柔軟に、くじけずに考
えられる子になるようのぞんでいます。
だから、むしろ不満があるくらいの方
がよく、狭いながらも自分で工夫しよ
うとする気持ちで育つと考えました。

また、その部屋の隣に、壁一面に本
箱のある図書室を作りました。私が研
究している児童文学や、子どもたちの
本で一杯です。そこには、大きなテー
ブルがあり、パソコンやゲームを楽し
む、大勢の友だちが集まる部屋にもな
っています。子どもは友達とのふれあ
いの中で、人間として良いことも悪い
ことも分かる、幅の広い子に育つた
と思います。

瀧井さん宅 (断面図)



設計図提供
栗田 仁さん (静岡市在住)

ての感想でしょうか。子どもたちが将
来、人生のパートナーとしての夫婦の
関係が築けるように、大人が子育ての
中で環境作りをしていくことが大切で
はないでしょうか。
(注) 瀧井さんの住宅は、静岡県「住
まいの文化賞」で昭和六十三年度に優
秀賞を受賞されています。

専門家からのご意見

住まいからみた子育て

外山 知徳さん



プロフィール
現職 / 静岡大学教育学部教授
専門 / 建築学、住居学
主な著書 / 住まいの家族学 (丸善) 等

個室は西洋からきた発想です

日本は、子ども部屋が取り入れられたのは、
大正時代です。次に第二次世界大戦後の民
主思想(「プライバシーの保護」)が個室を求め
ました。しかし、個室が定着したのは昭和四
十年以降、住宅産業によつてです。

しかし、この親たちの世代は欧米人のよう
に、個室文化の中で育っていません。そのため、
子どものしつけにうまく活かされず、子ども
部屋を生かしての子育てや生活の営みが出来
ませんでした。また、子どもも、小さい頃は
親と一緒に部屋で過ごしているため、途中か
ら個室を与えられても、使いこなせていま
しません。日本人は、西洋人の文化を形式から取
り入れても、内面が少しも変わっていないの
で、活用出来ないので。

つまり、家だけ変わっても、住んでいる人
間が変わらなければ、住みにくいということ
でしょう。

子どもも生活テリトリーは情緒の安定につな
がる

ある施設で生活をしている子どもが、粗暴
な行動が目立ち、集団生活が出来ないほどに
なり、ついには登校拒否になってしまいました。
相談を受け調べていくうちに、その子ど
もが頻りに、早いときは一日、三日、四日と
いった間隔で部屋割りを替えられ、机も与え
られていないことがわかりました。その子ど